

アローライト

ラクラクシリーズ

取扱説明書

壁付型回転灯

型式

ASL

ASLB	(ブザー付)
------	--------

AML

このたびは弊社アローライトをご採用頂き、誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、まずこの取扱説明書を最後までご覧になって、使用上の注意等十分ご理解頂き、性能が万全に発揮できる状態で、末永くご愛用ください。またいつでも読み返しやすいように大切に保管してください。

お願い

出荷に際しては、取扱説明書を含め十分なチェックをして万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点やお気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店か、最寄の弊社営業所までご連絡ください。

- ・寸法、仕様および構造は、今後改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本機の使用により生じた障害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。

概要

☆本機は、取付作業・結線作業の簡素化によるトータルコストパフォーマンスにすぐれた壁付型回転灯です。工場設備を初め、店舗の装飾や広告看板との併用等、あらゆる場所に使用できます。

特長

- ☆本機は、壁面に取り付ける際、従来品のようにオプション品(L金具等)は必要としません。
- ☆差し込み式コネクタの採用により、結線がワンタッチで行えます。(VVFケーブルφ2、φ1.6使用時)。
- ☆壁面の取り付けピッチは、JIS規格で定められたスイッチボックス(JIS C8435)に対応しています。(取り付けピッチ83.5、66.7)。
- ☆取付面からの作業だけで、簡単に結線、取り付けができます。
- ☆必要に応じて回転灯部分だけを逆向きに取り付け可能です。
- ☆保護特性IP54。(ASLBの屋外での使用については、ベースを正方向取り付けで使用してください。ASLBはIP23となります。)

目次

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 : ▲安全にお使いいただくために | 5 : 電球の交換方法 |
| 2 : 各部の名称 | 6 : 定格 |
| 3 : 取付方法および結線方法 | 7 : 外観図 |
| 4 : ブザー音の音量の調節および音色の切換方法 | 8 : 保守部品 |

1 ▲安全にお使いいただくために

本機のご使用前に、以下の『重要注意事項』をよくお読みいただき遵守してください。

▲注意：感電事故をさけるために

◎感電事故や内部回路破損による故障を避けるため、結線の際は必ず電源を切ってから行なってください。

▲注意：本機の故障をさけるために

◎本機を定格範囲外でご使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがありますので、定格表に記載されている範囲内で使用してください。

◎電球をはずした状態で使用しないでください。ソケット部にてショートのおそれがあります。

◎本機の取付および結線方法については、各項目に記載の注意事項等を遵守してください。

2 [各部の名称]

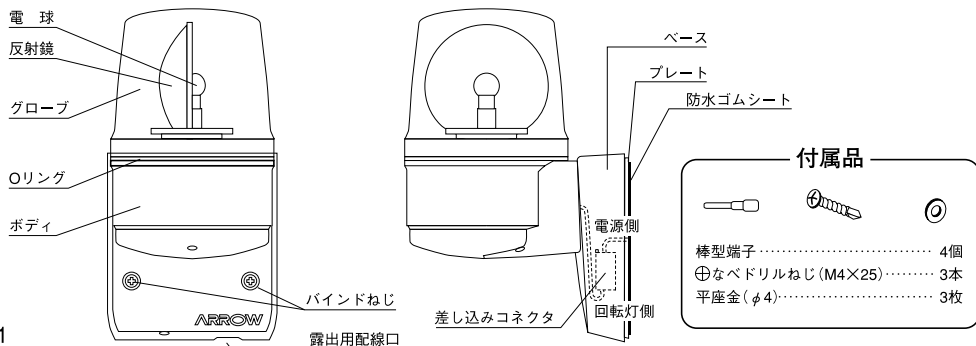


図1

3 [取付方法および結線方法]

注意

- 本機は壁面取り付け専用です。天井面には取り付けないでください。
- 壁面の凹凸が大きく防水性を保てない場合、防水ゴムシートとの隙間を防水シール剤でコーキングしてください。
- 露出配線用折り取り部から電源コードを露出して取り付ける場合、防水性を保つため電源コード引出し口が下になる様に設置してください。折り取り部はVVFケーブル1本分を露出できます。
- 結線する前に使用電源電圧と本機に表示の電源電圧が一致している事を確認してください。
- 感電事故を避けるために、必ず電源を切ってから結線してください。
- 感電事故や故障を避けるために、結線には必ずベースに取り付けてあるコネクタを使用してください (VVFケーブルφ1.6、φ2対応。また燃線を使用する場合は、必ず付属の棒形端子で先端を圧着後、コネクタに差し込んでください)。
- DC12Vタイプの場合は電源に極性がありますので、注意して結線してください。
- プレートにベースを取り付ける時、ケーブルやオリングのはさみ込みがないか十分注意してバインドねじを締め付けてください。
- 本機にはヒューズを内蔵しておりませんので、外部ヒューズ (消費電流の約10倍) を設けて結線してください。

☆ 取付は振動が少なく、十分強度のある面を選んでください。

▽ ベース部にあるバインドねじをはずすと、プレートが分離します。

▽ 出荷時回転灯は正方向に取り付けてあります。必要に応じて逆方向に付け替えてください。(図2—①)

▽ 配線を壁面から引き出し、プレートに通してください。(図2—②)

▽ プレートを壁面に取り付けてください。取り付けの際、防水ゴムシートが均等に圧縮されるように **7** の外観図を参考にして、プレートの対称な位置に付属のドリルねじで取り付けてください。(図2—②)

▽ ケーブルを図のように加工し、ベースに備え付けてあるコネクタに差し込んでください。(図2—③)

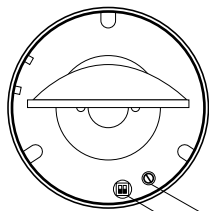
▽ プレートにベースの上部を引っ掛け、**+**ドライバーでバインドねじを締め付ければ完了です。(図2—④、⑤)

▽ 電源を投入すれば動作します。プザー入りタイプ (ASLB) は、回転灯とプザー回路が独立していますので、別々に動作させることができます。

○音色の切換

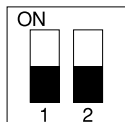
音色切換スイッチにより音色の切換が可能です。

▽グローブを左に回してはらずとシャーシ部に音色切換スイッチがありますので、小型の
⊖ドライバーの先等でスイッチを切換えてください。下記の音色が選択できます。



音量ボリューム
音色切換スイッチ

音色切換スイッチにより右の音色が
選択できます。



音色切換スイッチ (黒い部分がつまみ)	音 色
1	断続音、 ビブラート標準(ビビビビ、ビビビビ)
2	連続音、 ビブラート標準(ビビビビビビビ)
3	断続音、 ビブラート速い(ピー、ピー)
4	連続音、 ビブラート速い(ピー)

図3

尚、出荷時には音色1(断続音、ビブラート標準)に設定してあります。

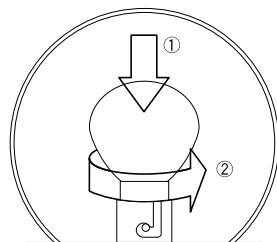
5 [電球の交換方法]

注意

- ◎電源を切ってから、下記の要領で交換してください。また、電源を切った直後、電球はかなり高温になっていますので、必ず電球が冷えてから作業してください。

☆グローブをはずし、右図の要領で電球を交換してください。

☆電球をお買い求めの際は、**8** [保守部品] の表を参考にし、
現在お使いの商品にあったものをお求めください。



電球は①押さえて②左へ回すと外れます

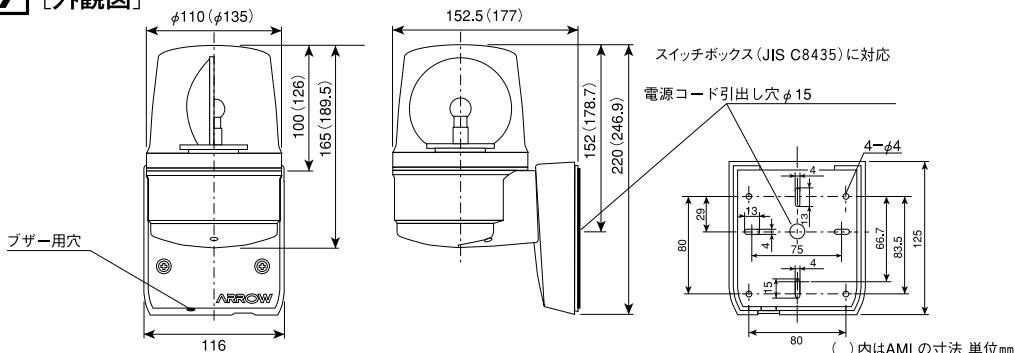
6 [定格]

型 式	電 圧	使用電圧 範 囲	消 費 電 力		閃光速度	電子ブザー音 (ASLBのみ)	電 球		製品質量		
			回転灯	ブザー							
ASL/ASLB-12(R・Y・G・B)	DC12V	10.8~13.2V	12.0W	1.0W	140min ⁻¹	連続音/断続音 設定可能 最大90dB (70~90dB 可変可能)	G18,BA15S/19	12V 10W	0.7kg		
ASL/ASLB-24(R・Y・G・B)	AC/DC24V	21.6~24.6V		1.0W				24V 10W			
ASL/ASLB-100(R・Y・G・B)	AC100V	90~110V	7.0W	2.1W			G18,BA15S/19	12V 5W	0.9kg		
ASL/ASLB-200(R・Y・G・B)	AC200V	180~220V		1.7W							
AML-12(R・Y・G・B)	DC12V	10.8~13.2V	35.0W	-			-	-	RP35,BA15S/19	12V 35W	0.6kg
AML-24(R・Y・G・B)	AC/DC24V	21.6~24.6V								24V 35W	
AML-100(R・Y・G・B)	AC100V	90~110V	30.0W	-	-	-			RP35,BA15D/19	120V 40W	0.8kg
AML-200(R・Y・G・B)	AC200V	180~220V								220V 40W	

■使用温度範囲 -10℃~50℃

■使用湿度範囲 35%~85%RH(結露なきこと)

7 [外觀図]



8 [保守部品]

ASL電球

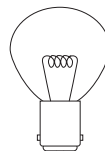


DC12V, AC/DC24V
AC100V, AC200V

AML電球



AC100V
AC200V



DC12V,
AC/DC24V

ASL/ASLBご使用電圧	電球型式
DC12V	D03 12V10W (G18,BA15S/19)
AC/DC24V	D07 24V10W (G18,BA15S/19)
AC100V	DD64 12V5W (G18,BA15S/19)
AC200V	

AMLご使用電圧	電球型式
DC12V	D16 12V35W (RP35,BA15S/19)
AC/DC24V	D11 24V35W (RP35,BA15S/19)
AC100V	D17 120V40W (RP35,BA15D/19)
AC200V	D21 220V40W (RP35,BA15D/19)

アロ株式会社 ARROW CO., LTD.

<http://www.arrow-elec.co.jp>

本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
 ☎06(6961)-1333(代) FAX06(6969)-0510
 仙台営業所 〒983-0005 仙台市宮城野区福室5-2-3
 ☎022(786)-0278 FAX022(259)-8884
 東京営業所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋4-1-1-10F
 ☎03(5907)-3230 FAX03(5907)-3231
 神奈川営業所 〒226-0011 横浜市緑区中山町301-5-3F
 ☎045(938)-0500 FAX045(938)-0600

名古屋営業所 〒465-0093 名古屋市名東区一社3-105-1
 ☎052(709)-5556 FAX052(709)-5573
 大阪営業所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
 ☎06(6961)-0325 FAX06(6961)-1199
 広島営業所 〒733-0005 広島市西区三滝町20-3-1F
 ☎082(239)-7254 FAX082(239)-7256
 福岡営業所 〒812-0894 福岡市博多区諸岡1-6-36
 ☎092(574)-5446 FAX092(574)-5450